

授業科目の区分	選択		講義番号	712030				
授業科目	メタボリックシンドローム 特論 (2単位) Lecture : Metabolic syndrome		授業担当責任者	和田 淳 准教授 所属:腎・免疫・内分泌代謝内科学 内線:7234				
対象年次	1年次, 2年次		講義室	基礎医学棟(旧基礎棟) 2階 大学院第1講義室 土日曜日, 時間外の講義室のある建物への入館には, 学生証(ICカード)が必要です。				
講義の概要	メタボリックシンドロームとこれに伴う様々な疾患の病態、診断、治療について、基礎と臨床の両面から最先端の知識を習得するために集中講義を行う。							
学習目標	肥満によるインスリン抵抗性、代謝異常および動脈硬化に伴う疾患の成因と治療に関する最先端の知識を習得する。							
成績評価方法	授業科目に関する知識を集中的に学ぶため、すべての講義に出席することを基本とする。 成績の評価及び単位の認定にあたっては、小テスト、レポートの他、2/3以上の出席(10コマ以上)を必要とする。 大学院生の講義への出席確認は、「出席カード」による。の授業科目終了後1週間以内に「出席カード」の正本を担当窓口へ提出すること。 (注)この科目は、単年度ごとに単位認定される科目です。複数年にわたって履修し単位取得することはできません。(例えば、ある年度に7回出席し、翌年度に7回出席しても単位認定されません。翌年度は新規の履修となります。)							
番号	月日	曜日	時限	時間	担当講座等	担当教員	講義題目	授業内容
1	11月8日	土	1	8:40-10:10	循環器内科学	伊藤 浩三好	高血圧の成因と治療	高血圧の成因の理解と、高血圧の生活指導と薬物療法を実施する
2	11月8日	土	2	10:20-11:50	循環器内科学	中村 一文	心筋梗塞の成因	心筋梗塞の成因としての冠動脈の循環およびプラーク形成・破綻を講義する。
3	11月8日	土	3	13:00-14:30	新医療研究開発センター	四方 賢一	メタボリックシンドロームの成因と病態	メタボリックシンドロームの成因と病態を理解する。
4	11月8日	土	4	14:40-16:10	新医療研究開発センター	四方 賢一	糖尿病の成因と治療	糖尿病の病因の理解と、糖尿病の生活指導と薬物治療を履修する。
5	11月8日	土	5	16:20-17:50	腎・免疫・内分泌代謝内科学	和田 淳 中司 敦子	メタボリックシンドロームの研究手法	メタボリックシンドロームの研究手法の現況を理解する。
6	11月15日	土	1	8:40-10:10	地域医療人材育成講座	片岡 仁美	脂質代謝異常	脂質代謝異常の成因と疫学について理解するとともに、脂質代謝異常の生活指導と薬物治療を履修する。
7	11月15日	土	2	10:20-11:50	病理学(免疫病理)	松川 昭博	動脈硬化の病理	動脈硬化および動脈硬化をベースにした疾患の病理を理解する。
8	11月15日	土	3	13:00-14:30	歯周病態学	高柴 正悟	歯周病の成因と治療	歯周病のメタボリックシンドロームに関連する機序、その成因と治療を履修する。
9	11月15日	土	4	14:40-16:10	腎・免疫・内分泌代謝内科学	和田 淳	メタボリックシンドロームと創薬の現況	メタボリックシンドローム肥満症に対する創薬の現況を理解する
10	11月15日	土	5	16:20-17:50	システム生理学	成瀬 恵治 高橋 賢	動脈硬化の成因	動脈硬化の成因を最新の分子・細胞生物学的側面のみならず血行動態学的側面からも講義する。
11	12月13日	土	1	8:40-10:10	脳神経内科学	阿部 康二	脳梗塞	脳梗塞予防における生活習慣病対策の重要性 脳卒中の予防には生活習慣病のコントロールが極めて重要である。高血圧や高脂血症、糖尿病などのコントロールについて脳卒中との関連で論ずる。
12	12月13日	土	2	10:20-11:50	公衆衛生学	荻野 景規	メタボリックシンドロームに対する保健指導	新健診制度の理念とメタボリックシンドロームの保健指導を理解する。
13	12月13日	土	3	13:00-14:30	消化器・肝臓内科学	高木章乃夫	脂肪肝の診断と治療	NASHを含めた脂肪肝の病理診断と治療を講義する
14	12月13日	土	4	14:40-16:10	細胞生物学	阪口 政清	細胞機能とアンチエイジング	細胞レベルのエイジングを説明する。
15	12月13日	土	5	16:20-17:50	産学官連携センター	松浦 栄次	動脈硬化のベーシックサイエンス	動脈硬化の成立機序:脂質代謝異常を中心に概説し、医療貢献への病態生化学的アプローチについて紹介する。
授業科目と研究活動との関連	肥満、糖代謝、脂質代謝、高血圧およびvascular biologyに関する知識を深めることによって、研究活動に役立てる。							